

不動産学の魅力

明海大学 不動産学部

第6回



片川 卓也
不動産学研究科

「博士」の学位を目指し社会人大学院生として、不動産を活用した老後生活の安定に関する研究を行っている。人生の三大支出の中でも老後資金対策は、日本人共通の課題であることは言うまでもない。少子高齢化により十分な年金の受給が期待できない

大学生の金融リテラシー

金融・資産形成教育を深化

中、我々は自助努力による資産形成の必要性が問われている。そのため、住宅の購入経験が金融リテラシーの向上に貢献し、不動産を活用した資産形成が研究テーマである。今回、明海大学不動産学部の学生146名を対象に5つの質問から構成される「金融リテラシー・クイズ」を実施した。各質問は、問①（家計

問①～問④で不動産学部生の各質問の正答率が全国平均を上回る結果だった。しかしながら、質問⑤（外部知見／消費者保護制度の知識を問う質問）のみが、3年生52・2％、2年生58・0％と全国平均70・8％と比較し下回った。このことは金融トラブルを経験した学生が少ないなど、実社会での経験の頻度が低いことが影響していると考えられる。結果、大学教育がクイズの平均点

載、金融リテラシーの状況を把握できるようにしている。調査対象の不動産学部生に同様のクイズを解答させ、その結果を表1・表2に示す。不動産学部生の平均点は63・7点と全国平均50・6％を上回った。年代別18～29歳の平均点38・1点と比較しても大きく上回る結果だった。向上に寄与したことが推測される結果となった。

表1 金融リテラシー・クイズの平均点比較

	不動産学部 生平均	全国平均	年代別平均 (18~29歳)	男性平均	女性平均
クイズの平均点 (100点満点)	63.70点	50.60点	38.10点	51.80点	49.40点

表2 金融リテラシー・クイズの分野別平均正答率一覧

	質問①	質問②	質問③	質問④	質問⑤
質問分野	家計管理	生活管理	金融知識		外部知見
2年生 (n=100)	60.90%	78.30%	63.00%	56.50%	52.20%
3年生 (n=46)	76.00%	75.00%	60.00%	53.00%	58.00%
全国平均	51.80%	46.20%	43.40%	40.80%	70.80%

【教員コメント】

高校で金融・

資産形成教育が開始された。住宅購入の経験と世代間の金融リテラシーの変遷に焦点をあてた研究成果は、大学での金融・資産形成教育を深化させることが期待される。(山本卓)